

「マスク着用」に関する各国の状況（2022年5月11日時点）

| | マスク着用の義務 | マスク着用が義務である場所 |
|-------|----------------|--|
| イギリス | 無し | — |
| アメリカ | 無し (一部推奨あり) | (公共交通機関(飛行機、電車など)や交通機関の屋内エリアでのマスク着用は引き続き推奨) |
| フランス | 一部有り | 医療関係施設及び介護老人ホーム 公共交通機関は5月16日から解除 |
| ドイツ | 一部有り | 公共交通機関、医療機関や介護施設などの特定の場所 感染状況が悪化した場所はマスク着用義務を強化する |
| イスラエル | 一部有り | 病院などの医療関連施設や航空機内等の施設 |
| 韓国 | 一定程度有り | ・屋内() ・屋外で50人以上の屋外での集会に参加する場合、50人以上の屋外での公演・スポーツ競技を観覧する場合 ()バス、タクシー、列車、船舶、飛行機、その他車両など建築物及び四方が区画され、外部と分離されているすべての構造物 |

マスク着用に関する専門家等の発言（要旨）

《 2022年5月11日 松野内閣官房長官記者会見 》

- n 専門家からは、マスクをつけずに近距離で会話をするような感染リスクの高い行動を避けることが重要と指摘
- n **人との距離が十分とれば屋外でマスクの着用は必ずしも必要ではなく、特に、気温・湿度が高い時には熱中症のリスクが高くなることから、屋外での人との距離が十分ある場合には、マスクを外すことを推奨。**
- n マスク着用などの基本的感染対策については**感染状況等も踏まえながら、専門家の科学的な意見を伺い検討**

《 2022年5月11日 新型コロナウイルス感染症対策アドバイザリーボード（脇田隆字国立感染症研究所所長） 》

- n **野外というところで距離をとって、会話もない場合は、当然マスクをする必要はない**
- n （マスクの着用ルールについては）**感染状況を見ながら判断する必要がある**

《 2022年5月10日 東京都医師会定例記者会見（尾崎治夫会長） 》

- n 屋外で換気の良い場所は、それほど感染リスクがないと思っている。まず**屋外で、着用を見直してもいいのではないかと考えている**
- n マスクと抗原定性検査を、うまく使い分けていくという時代に入っていないといけない

《 2022年4月27日 新型コロナウイルス感染症対策分科会（尾身茂分科会長） 》

- n コロナ分科会(4/27)で、マスク着用についての議論はあった
- n 科学的なエビデンスをどうするかはといったところはなかなか悩ましいところ。**分科会でこうしようという結論は出なかった**
- n **エビデンスに基づいて、どこかでわかりやすい判断の例を示すとか、ほとんどの場合が合理性があるといったのがどこなのか、議論を進めていったらよい**

《 2022年4月22日 後藤厚生労働大臣記者会見 》

- n **これまでも、野外で人との距離が保たれている場合、熱中症を防ぐためにマスクを外すことを推奨**
- n 専門家からは、マスクをせずに大声で長時間会話するなどのリスクの高い場面は避けるよう指摘あり
- n **専門家の意見も聞きながら、今後検討**